

2019年1月期 5月度 月次業績動向(単体) (2018年4月21日～2018年5月20日)
会社名 ピープル株式会社

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 小暮雅子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

(単体業績)

科目	月次の対比(単体)			期初からの累積の対比(単体)			過去12ヶ月累積期間の対比(単体)注)		
	2018年1月期 5月度	2019年1月期 5月度	※前年 同月比	17/1/21～ 17/5/20	2018/1/21～ 2018/5/20	注)前年 同期間比	16/5/21～ 17/5/20	2017/5/21～ 2018/5/20	前年 同期間比
売上高	329,651	160,040	48.5%	1,385,804	1,101,271	79.5%	4,563,202	3,978,934	87.2%
営業利益	注) 51,228	1,337	2.6%	注) 150,811	109,030	72.3%	483,461	422,833	87.5%
経常利益	60,839	3,596	5.9%	149,425	109,080	73.0%	496,624	410,523	82.7%
税引前利益	61,133	3,596	5.9%	149,719	109,080	72.9%	485,114	410,229	84.6%
流動資産	2,017,257	1,961,568	97.2%	注) 前期末において一括して計上した米国子会社株式の減損を、前期期初から平均値にて補正して記載しております。					
固定資産	246,423	194,469	78.9%						
流動負債	368,078	277,545	75.4%						
固定負債	-	-	N/A						
純資産	1,895,602	1,878,492	99.1%						
総資産	2,263,680	2,156,037	95.2%						

*** 2019年1月期第2四半期累計期間(2月度～7月度)連結業績予想**
 (2018年6月1日発表)

- ・売上高: 16億40百万円
- ・営業利益: 75百万円
- ・経常利益: 73百万円
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益: 49百万円

上記表の実績数値につきましては、親会社単体の業績動向とともに前期比較を表示しております。* 次期四半期累計期間業績予想につきましては短信開示資料に添って、連結業績予想を掲載させていただきます。

商品別売上高

商品カテゴリー名	月次の対比(単体)		当月(連結)	期初からの累積(連結)		過去12ヶ月累積期間の対比(単体)		
	2018年1月期 5月度	2019年1月期 5月度	2019年1月期 5月度	2018/1/21～ 2018/5/20	当期間 構成比	16/5/21～ 17/5/20	2017/5/21～ 2018/5/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	95,703	77,615	77,615	400,422	36.3%	1,468,789	1,399,043	35.2%
女兒玩具	30,342	16,678	16,678	125,648	11.4%	838,637	551,335	13.9%
遊具・乗り物	35,661	18,897	18,897	160,336	14.6%	616,845	493,191	12.4%
海外販売、その他	167,945	46,850	47,611	415,303	37.7%	1,638,931	1,535,364	38.5%
合計	329,651	160,040	※ 160,802	1,101,709	100.0%	4,563,202	3,978,934	100.0%

5月度新発売およびリニューアル商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税別)
女兒玩具	人形「お風呂も一緒ぼぼちゃん フードタオル付」	¥3,280

当5月度では、主に海外販売における米国向け船積みの調整月となった事が大きく総売上高に影響しました。又、国内販売ではGW商戦の玩具店への集客が前年より伸び悩んだ事から、前4月度で商戦用に前倒し出荷された当社商品群では、商戦後の補充注文が例年に比べ縮小しました。当5月度の出荷額は国内外ともに前年同月を下回り、連結総売上高は1億61百万円となりました。(上記商品別売上表※参照)

第1四半期において好調に推移した乳児・知育カテゴリーでは、流通の期待からGW商戦直前に積み込みに応え出荷しましたが、例年より集客減となった玩具のGW商戦は業界市場平均でも伸び悩み、当社の同カテゴリーの補充注文にも影響しました。

又、女兒玩具の人形シリーズでは、抱き人形市場パイが変わらぬ一方、前年に無かった競合人形の参入によって各種銘柄のシェアが分散しGW商戦では流通段階での過剰供給状態が続き、特別な安売りキャンペーン等も始まりました。